

- なぜ足利義満の本を選んだかと言うと、  
だからです。
- 足利義満は 1358 年に 生まれました。今から 600 年以上も前、権力争いがひどく、戦が絶えない時代でした。

足利義満は室町幕府の前半は、南北朝で二つの天皇が対立する時代です。後半は戦国時代になります。

たくさん的人が殺されたり、戦をしたり、（おそろしい / こわい / ぶっそうな / 平和とはほど遠い）時代に  
これほどの権力と財力を持ち合わせる足利義満は、

だと思いました / だと感じました / という印象がありました。

- 足利義満は武家として武力でたくさんの領地を治め、公家として太政大臣に任命され、室町幕府を開きます。  
武家と公家という相反する力を同時に持ち合わせるのは、

と思いました / と感じましたと考えました。

明（昔の中国）との貿易で大きな利益を生むビジネスマンとしての才能もありました。もし足利義満が今の時代に  
生きていたら、

と思いました / と感じました / と想像してしまいました。

さらに、芸術家に対する理解者でもあり、能楽と言う舞台芸術が確立する手助けをしました。今も受け継がれる  
日本の芸術にとって足利義満は、

なのではないかと考えました。

学問、文学、絵画など様々な分野への支援と、世界にも知られている『金閣寺』を作りました。私は金閣寺を  
見たことがあります / 見たことがありません / テレビ・ネットで見たことがあります。金閣寺は、

だと思いました / という印象でした / という点が感動しました。

- 足利義満を詳しく知ることで、足利義満の武家、公家、商人、芸術家の理解者といういろいろな面を知ること  
ができました。特に共感できたのは / すごいと思ったのは / 意外だったのは / 尊敬できるのは

という点です。

なぜかというと、  
だからです。

私は、  
と思いました / と感じました / と考えました。

□ しかし、これほどまでに、力がある / 成功した / 無敵な 足利義満や室町幕府が永遠に、安定して続くことは  
ありませんでした。室町幕府は 15 代将軍まで 165 年間ありましたが、後半は戦国時代になってしまいます。

私は、室町幕府が安定して長く続かなかったのは、

が原因なのではないかと思います。

# 「足利義満」

2/2

□もし足利義満が、

という方法をとっていたら / しなかつたら /

もっと長く、安定した室町幕府が続いていたかも知れません。

□私も【一番になりたくて / ほめられたくて わがままになった体験】①状況の説明：いつ・どこで・

だれが / だれに②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして

③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。

そのこと / 出来事から、（自分のことばかり考えると / わがままになると / 人の気持ちを考えないと / 欲ばりに

なると） だと思います / という気持ちがわかります。

□成功を目指すとき / えらくなりたいと考えるとき / 一番になりたいとき / 自分の考えを押し通したいとき、

一番重要なこと / 大切にしなくてはならないこと は何かと考えてみると、

なのではないかと 思いました / 考えました。

□なぜなら、私の考える 成功 / 出世 / 一番になる / えらくなる ということは、

だと思うからです / だと考えるからです。

□なぜなら、【評価されたい / 一番になりたいとき、結果として思っていたこととは違った体験やまわりの

人の話 / 体験】 ①状況の説明 ②行動 ③状況 / 心の変化 ということ / 体験 / 経験 / 話 があり、

そのときに、 と感じたから / 経験したからです。

□足利義満 / 室町幕府のことを詳しく知ることで、

ということを改めて 学びました / 考えるようになりました。

□自分の成功 / 結果 / 状況に、おごってしまう / テングになってしまい / まわりが見えないと

ということもある / という失敗をすることもある / 冷静に考える必要がある

という気持ちを持ちたい / 忘れないようにしたい / 考えたいと思いました。

□伝記を読んで歴史上の人物について知るということは、その人の人生 / 生き方 / 考え方 から

ということを学べると思います。

□実際に生きてきた人物だからこそ、身近に / 現実的に / 興味を持って / 共感して 読むことができました。

□私は足利義満の人生 / 伝記 / 生き方から、

ということを学びました。

□これからは華やかな金閣寺を見たときに、 ということを思い出します。